



山形にある  
日本百選  
Japanese best 100 in Yamagata

いま、  
山形から...

山形県メールマガジン 第214号

ため池百選  
徳良湖 尾花沢市

## 花笠音頭とため池百選

♪ 花の山形 紅葉の天童 雪をながむる  
尾花沢 ヤッショウマカシヨ

沿道のパレードで、近所の盆踊りで、夏になると必ず聞こえてくる「花笠音頭」。歌と踊りは尾花沢市の徳良湖ちくてい築堤の際に歌われた「土搗き唄」どつきうたから生まれたものです。

徳良湖の着工は大正8年9月。各地で開田事業が盛んに行われていた大正のはじめ、魚屋兼料亭を営んでいた高宮常太郎氏が230haの開田用の貯水池として築堤を計画。大正10年5月、周囲約2.7km、水深5.6mという巨大な溜め池が完成しました。



徳良湖



「尾花沢中心部はお囃子、その周辺部村は踊りと役割が分かれています。私が踊れるのは2流派くらい」と渡会則夫さん。

「作業は女性が土搗きを、男性がもっこ担ぎを分担して行いました。近隣から16、17歳から20代はじめの男女が集まりました。上手な歌詞をつけると、駄賃や菓子もらえることもあったそうで、何百という歌詞が出来たのですが、伏せ字が多くてみなさんにお見せできないんですよ。男女の出会いの場であったからでしょう」と尾花沢市観光物産協会 事務局長 渡会則夫さん。

かぶっていた菅笠すげがさを手に、余興で踊られた「花笠踊り」は村落単位で残っており、現在は上町、寺内、安久戸、原田、名木沢の5つの流派が伝えられています。どの踊りも花笠を大きく振り回し、勇壮かつ豪快で見ごたえ十分。毎年、8月28日には「花笠おどり大パレード」として、80団体2,500名を超える踊り手が、尾花沢の街を練り歩きます。

このように、ため池築堤時の土搗き唄が村落単位で花笠踊りとして引き継がれていること等が評価され、徳良湖は2010年に農林水産省の「ため池百選」に選定されました。

## 夏の徳良湖で作る、食べる、見る、遊ぶ。



戦後、徳良湖は貯水池としての役目に加え、芋煮会の会場等としても周辺が整備されました。「3軒の茶屋があり、市内からここまでサイダーを飲みにくるのが楽しみだった」と渡会さんは当時は振り返ります。現在、茶屋は残っていませんが、徳良湖周辺には様々なレジャー施設がつけられました。いくつかご紹介しましょう。

### グラススタジオ旭



吹きガラスによる、グラスづくり。1人10分程度。5人以上の場合は要予約。



素材と銀箔のコントラストが雪のように見える、銀彩硝子の作品。

日本のガラス工芸界に多大な功績を残した尾花沢出身の壹谷 旭いちやあきら氏が平成5年に手作りガラスの体験工房を開設しました。型を使わず、ガラスの液を巻き取り、膨らませるため、色合いや形がひとつひとつ異なります。吹きガラスでの一輪差し作り、グラス作りを体験できます。

併設されているギャラリーショップには、壹谷氏独自の技法のぎんさいがらすひとつ、銀彩硝子を受け継ぐ硝子作家の伊藤直仁さんの作品が展示されています。

银山温泉に舞い降りる雪をイメージし、銀箔を硝子の間に挟み込んだもので「作るときのちょっとしたタイミングで銀箔の散り方が違うんです。透明な硝子と銀のコントラストに、雪の日の風情が感じられるのではないのでしょうか」と魅力を語る伊藤さん。

その他にも、工房作品やとんぼ玉アクセサリなど様々な作品を展示販売しています。



壹谷さんの弟子の伊藤直仁さん。

### ステーキ&洋食 レストラン徳良湖

黒毛和種の肥育頭数が、県内1位という尾花沢市。日本三大豪雪地帯に数えられる厳しい冬の寒さから身を守ろうと、上質な脂を身に付けています。なおかつ、やわらかい肉質を保っている仔牛を産んでいないメス、月齢32ヶ月以上で豊富な旨み成分を含んだものだけを「雪降り和牛」としてブランド化。



特選尾花沢牛ロースステーキ。

レストラン徳良湖で提供される尾花沢牛の90%が雪降り和牛で、ロース&ヒレステーキを堪能することができます。「無理に太らせた霜降り牛とは違い、肉質はきめ細やかで、赤味に粉雪サンが舞っているような脂が特徴です。たくさんの方に尾花沢牛を味わってもらいたいですね。」と店長の笹原さん。口に入れるとふわっと軽く、脂にも甘みがあり、噛まなくても無くなってしまうほどです。



笹原店長

## オートキャンプ場サンビレッジ徳良湖

どの区画も広く、隣との間隔も十分。ゆったりくつろげると好評です。風通しの良さで夏場に人気のBサイト、電源付きで便利なAサイト、複数台で使える大型サイトなど、目的にあわせてチョイスできます。サニタリーにはシャワーや洗濯機があり、炊事場とともに、いつも清潔に保たれていて、なおかつ低料金。



6月～9月の第1土曜日に行っているカヌー体験。予約が必要です。

リピーターも多く、キャンプ場の周辺ではグラウンドゴルフやテニス、サイクリングコース、アスレチック広場があり、アウトドアライフを満喫できます。たくさん遊んだ後は、目の前に広がる徳良湖を眺めながらのんびりするのも良し！



サイトの風景

## 手作りのお花畑 はながさの丘

「人生を花畑づくりにかけ、記念になるものを残したい」と押切三咲おしきりみつあきさんが4年前に開園させました。毎年5月3日にオープンし、湖畔に様々な花を咲かせています。

旬の花まつりを開催しており、5月初旬水仙、5月中旬ミニアイリス(100種5000株)、5月下旬ジャーマンアイリス(800種2万株)、6月上旬から芍薬しゃくやく(50種5千株)、7月上旬からゆり(100種2万株)。それ以降はヘメロカリス(300種5千株)、ポピー(2600㎡)、ルピナス(20種千株、育成中100種あり)などが次々に見頃を迎え、冬を除いていつでも花を楽しむことができます。



みごとな芍薬のひとつ。

特に見たい花がある場合は、事前に開花状況を事前に確認されることをおすすめします。押切さんは娘さんといっしょに、野菜苗や珍しい種類の増苗の相談にもものってくれるそうです。

平成2年から運営されている温泉「徳良湖温泉 花笠の湯」では、大浴場での入浴の他、「チャレンジ花笠 踊り体験コーナー」(要予約)があり、5流派の花笠を教えてもらうこともできます。

夏の一日、ご家族で、ご夫婦で、グループで、徳良湖を満喫してみたいはいかがでしょうか。



800種、2万株あるというジャーマンアイリス

### 取材協力

グラススタジオ旭  
尾花沢市二藤袋字浦山1767-1  
Tel:0237-22-1811  
<http://kurukuru3-pooh.com/>

ステーキ&洋食 レストラン徳良湖  
尾花沢市二藤袋1767-6  
Tel:0237-23-2989

お花畑「はながさの丘」  
徳良湖湖畔  
Tel:090-2361-4015

### お問い合わせ

尾花沢市観光物産協会  
サンビレッジ徳良湖オートキャンプ場内  
尾花沢市二藤袋1401-6  
Tel:0237-23-4567  
<http://www.obanazawa-kankou.jp/>